

令和5年

高山市外国人観光客宿泊統計

令和6年4月

高山市 観光課

1. 調査方法

市内宿泊施設からの聞き取り調査

2. 調査結果

1) R5.1～R5.12月期の外国人宿泊者数比較(H31.R1比)⇒26.1%減少

	外国人宿泊者数(人)		
	令和5年	平成31年 令和元年	伸率
1月	21,043	48,373	▲56.5%
2月	22,051	55,781	▲60.5%
3月	30,450	43,397	▲29.8%
4月	57,400	74,033	▲22.5%
5月	43,317	56,266	▲23.0%
6月	26,815	38,953	▲31.2%
7月	29,822	41,039	▲27.3%
8月	33,149	44,297	▲25.2%
9月	32,771	37,353	▲12.3%
10月	58,978	61,552	▲4.2%
11月	50,019	56,704	▲11.8%
12月	46,685	54,456	▲14.3%
計	452,500	612,204	▲26.1%

2) 全体数値 (訪日外客数との比較)

(単位:人)

	高山市外国人宿泊数(人)		訪日外客数(人)	
		対前年比		対前年比
平成24年	151,000	—	8,358,105	—
平成25年	225,000	149%	10,363,904	124%
平成26年	280,322	125%	13,413,467	129%
平成27年	364,471	130%	19,737,409	147%
平成28年	461,253	127%	24,039,700	122%
平成29年	513,479	111%	28,691,073	119%
平成30年	552,301	108%	31,191,856	109%
平成31年 令和元年	612,204	111%	31,882,049	102%
令和2年	108,720	18%	4,115,828	13%
令和3年	2,993	3%	245,862	6%
令和4年	40,493	1353%	3,832,110	1559%
令和5年	452,500	1117%	25,066,100	654%

3) 地域別数値

(単位:人)

	令和5年		平成31年 令和元年
		対H31・R1比	
北米	38,461	88.2%	43,600
中南米	5,780	71.6%	8,076
ヨーロッパ	107,584	75.7%	142,190
アジア	171,475	50.4%	340,443
オセアニア	23,885	79.4%	30,064
中東	721	5.0%	14,286
その他	104,594	311.8%	33,545
合計	452,500	73.9%	612,204

4) 地域別割合

	令和5年		平成31年 令和元年
		対H31・R1比	
北米	8.5%	+1.4	7.1%
中南米	1.3%	0.0	1.3%
ヨーロッパ	23.8%	+0.6	23.2%
アジア	37.9%	▲17.7	55.6%
オセアニア	5.3%	+0.4	4.9%
中東	0.2%	▲2.1	2.3%
その他	23.1%	+17.6	5.5%
合計	100%	—	100%

5) 国別数値

(単位:人)

	高山市外国人宿泊数(人)		平成31年、令和元年
	令和5年	対R31・R1比	
アメリカ	32,304	94%	34,511
カナダ	6,157	68%	9,089
メキシコ	1,816	90%	2,007
ブラジル	2,123	63%	3,393
イギリス	22,701	98%	23,124
フランス	13,970	67%	20,815
ドイツ	11,730	96%	12,161
イタリア	16,659	90%	18,458
スペイン	21,821	62%	34,952
オランダ	6,678	82%	8,162
ロシア	205	29%	712
スイス	3,496	92%	3,801
中国	14,057	23%	61,841
台湾	51,917	50%	103,763
香港	26,270	55%	48,099
韓国	12,643	110%	11,453
タイ	21,345	40%	52,945
シンガポール	18,118	100%	18,176
マレーシア	10,941	65%	16,725
インドネシア	6,932	59%	11,699
ベトナム	2,129	108%	1,972
フィリピン	2,370	96%	2,481
インド	1,018	88%	1,157
オーストラリア	22,111	84%	26,365
ニュージーランド	1,679	72%	2,334
アフリカ	526	39%	1,347
イスラエル	7,971	63%	12,639

6) 全宿泊者数と外国人宿泊者数の比較

	令和5年 外国人宿泊割合			平成31年、令和元年外国人宿泊割合
	全宿泊数	外国人宿泊者	外国人宿泊割合	
1月	131,000	21,043	16.06%	27.48%
2月	180,000	22,051	12.25%	29.83%
3月	173,000	30,450	17.60%	27.47%
4月	157,000	57,400	36.56%	35.42%
5月	149,000	43,317	29.07%	26.92%
6月	131,000	26,815	20.47%	27.05%
7月	141,000	29,822	21.15%	23.19%
8月	202,000	33,149	16.41%	17.10%
9月	153,000	32,771	21.42%	20.30%
10月	200,000	58,978	29.49%	29.17%
11月	171,000	50,019	29.25%	28.78%
12月	130,000	46,685	35.91%	33.82%
計	1,918,000	452,500	23.59%	26.95%

3. 総評

1) 令和5年の外国人宿泊数について

令和5年の外国人宿泊者数は、特に令和5年4月の新型コロナウイルス感染防止水際対策の終了以降、大きく回復し平成31年・令和元年比73.9%の452,500人となった。

なお、訪日外客数は、2,506万人(JNTO 2023年訪日外客数(総数))であり、平成31年・令和元年と比較して78.6%と8割程度の回復となった。

2) 北米、欧州地域の宿泊者数は平成31年・令和元年比約8割にまで回復

北米地域からの宿泊者数は38,461人となり、平成31年・令和元年の43,600人と比較して88.2%、欧州地域からの宿泊者数は107,584人となり、平成31年・令和元年の142,190人と比較して75.7%となった。特にアメリカは平成31年、令和元年比94%(34,511人⇒32,304人)、イギリス、ドイツ、イタリアについても平成31年、令和元年比9割まで回復した。

3) アジア地域の宿泊者数は平成31年・令和元年比約5割にとどまった

平成31年・令和元年までコロナ禍前まで当市における外国人宿泊数の半数以上を占めていたアジア地域からの宿泊者数については、平成31年、令和元年比50.4%(340,443人⇒171,575人)となった。特に関係する航空路線の影響もあり、令和5年前半において東アジア・東南アジア市場について宿泊者数は伸びなかった。